

## 令和5年度 名桜大学シリーズ公開講座報告書

講座名	観光・体験ガイド養成講座
申請者氏名	○新垣 裕治、島 康貴
講師名 (所属機関)	小林 政文 (ホールアース自然学校沖縄校 がじゅまる自然学校代表)
日時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6/ 6 (火) 第1回・第2回 : 13:00 ~ 16:15</li> <li>・ 6/13 (火) 第3回・第4回 : 13:00 ~ 16:15</li> <li>・ 6/27 (火) 第5回・第6回 : 13:00 ~ 16:15</li> <li>・ 7/ 4 (火) 第7回・第8回 : 13:00 ~ 16:15</li> </ul>
講座の概要 及び所感	<p>観光関連事業者(ネイチャーガイド、民泊指導者、マリンインストラクター、環境教育事業者、観光コーディネーターなど)対象の講座である。観光ガイドは知識を伝達だけでなく、参加者の満足や変容の理解につながるような関わり方が求められる。そのために必要な「伝える技術」(インタープリテーション)を実践的な体験を通し学んだ。</p> <p>●第1回・第2回: イントロダクション・概論 自然体験活用の理念について説明を行いインタープリテーションの必要性や重要性について理解を深めた。ツアー参加者の意識変容や行動変容する為の目標の明確化を行った。</p> <p>●第3回・第4回: アイスブレイク・理論 インタープリテーションの6原則(話し方、聴き方、相手の知り方、コミュニケーション等)を基に、伝える技術を体験を通し理解を深めた。</p> <p>●第5回・第6回: 実践: インタープリテーション等 参加者がテーマを設定しインタープリテーションを作成し、参観者同志で実践をした。振り返りとして、インタープリテーション作成の要点を参観同志で確認をした。</p> <p>●第7回・第8回: 自然体験プログラム作り これまでのまとめとして、野外で参加者各自がガイド役となりエコツアーの案内(インタープリテーション)を行った。 連続の講座として実施したが、最後の回の講座まで全く欠席なく終了した参加者が少なかった。今後、継続して参加できる方法を検討する必要があると感じた。</p>
参加人数	18名